

どうぶつ基金が推進する「さくらねこTNR」によってこれまでに

222,736 頭の
ノラ猫がさくらねこになりました。

さくらねこTNR（TNR先行型地域猫活動）とは？

「さくらねこTNR」は、まず不妊手術をして猫の繁殖を止めましょう、そしてそこから話し合いをしましょう、というものです。環境省が提唱する地域猫活動は、行政・地域住民・ボランティアの三者合意が原則です。話し合っても合意に至らなければ実行できない場合や、合意を取り付けている間にどんどん猫が増え、当初想定していた予算や期間で対応できず放置されるなどの問題点があります。また、公園や大学など、いわゆる“地域”が存在しないケースもあります。どうぶつ基金は「TNR先行型地域猫活動」による、活動の支援を行っています。



多頭飼育崩壊現場の支援も行っています。

多頭飼育崩壊の現場は想像を絶するほど悲惨です。糞尿やゴミであふれかえり、清潔な水も十分な餌もなく、ケガも病気も放置され、子猫や子犬が産まれては死んでいきます。地獄のような環境の猫や犬を救うために必要なのは、まず全頭の不妊手術です。過剰な繁殖を止め、飼い主に考えて行動する時間を提供し、関係者のサポートのもと生活を立て直してもらいます。どうぶつ基金は、ヒトと動物を同時に救うための支援を行っています。



全国のボランティアや行政、そして犬や猫たちが皆様のお力を必要としています。
「協力病院」に関する疑問点や不明点、その他どのようなことでも下記よりお問い合わせください。
「協力病院」に関するお問い合わせフォームQRコードはこちら▶



659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7
TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



※古紙リサイクル適性ランクリストのAランク資材のみを使用して製作されたリサイクル対応型印刷物です。古紙になった場合、印刷・情報用紙向けの製紙原料として使用が可能です。



さくらねこ無料不妊手術事業

協力病院募集



一緒に殺処分ゼロを達成する病院になってください。

「協力病院」としての登録、チケットの受け入れ、手術費用お支払までの流れはこうなっています。

STEP.1



「どうぶつ基金マイページ」から自分の病院を「協力病院」として登録申請します。

STEP.2



審査完了後「協力病院」として登録され、専用のマイページが作成されます。

STEP.3



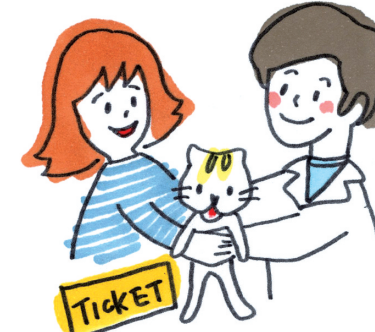
「どうぶつ基金ボランティア」が申請すると、無料不妊手術チケットが発行されます。

STEP.4



チケット発行された「どうぶつ基金ボランティア」からの手術予約を受け入れます。

STEP.5



予約日に「どうぶつ基金ボランティア」が無料不妊手術チケットを持ち、猫を連れてきます。

STEP.6



手術が終わったら、すぐチケットの情報を入力してください。手術費用の請求は自動的に行われます。病院側の事務手続きは不要です。

「協力病院」とは？

無料不妊手術チケットによる不妊手術を受け入れてくれる動物病院のことです。「協力病院」としての登録後はどうぶつ基金の公式サイト等に掲載され、病院の広報効果も期待できます。殺処分ゼロ達成を目指すパートナーとして無理のない範囲でご協力ください。

- チケットは、一般の方に発行される「一般枠」、ボランティア団体や自治会等に発行される「団体枠」、地方自治体に発行される「行政枠」「多頭飼育救済枠」の4種類あります。受け入れるチケット種別は自由に選ぶことができます。
- 1カ月の受入頭数は病院で自由に設定することができます。（最低受入頭数5頭～）
- オス1頭につき3,000円（税込）、メス1頭につき5,000円（税込）の手術費用をお支払いします。（チケット種別や施術内容によって費用が異なります。詳しくはお問い合わせください。）

「協力病院」の声

ボランティアの方の喜びをモチベーションに

当院では日々の診療や手術に加え、TNRも大事な活動となっております。たくさんのボランティアの方たちに「先生ありがとうね」と喜んでいただけることがモチベーションとなっています。ボランティアの方々とたくさんの猫たちに不妊手術を行うために、さくらねこ無料不妊手術チケットは優れたシステムだと思います。「丁寧で安全・安心な手術」を心がけて1頭でも多くのさくらねこの誕生に協力できるよう、スタッフ一同精進してまいります。



おおいし動物病院 院長 大西 学

TNRによる猫問題解決は獣医師冥利につきる

猫の繁殖力を抑えるためには、一度にたくさんの不妊手術をする必要があります。毎月少しずつなら効果は限定的です。短期間で多数の手術をする機会を与えてくれた、どうぶつ基金様には感謝しかありません。無料不妊手術事業のチケット発行数は、以前よりも格段に増えています。獣医師として、不妊手術で猫の問題緩和を目指せることはとても幸せなことです。今後もなるべく多数の手術を受け入れられるよう、技術や組織力向上の努力を続けて参ります。



いながき動物病院 院長 稲垣 将治

よくあるご質問

Q 無料不妊手術チケットはどのように配分されるのですか？

A どうぶつ基金に「どうぶつ基金ボランティア」として登録している方が、希望する「協力病院」を指定して、チケットを申請します。その後、どうぶつ基金で審査を行い、各ボランティアへチケットを配分します。配分結果は「協力病院」にもメールで通知されます。

Q 病院の近隣でボランティア活動をしている人だけを受け入れたいのですが可能ですか？

A チケット使用者を特定の個人や団体のみに限定することはできません。

殺処分ゼロ達成のために！

現在、どうぶつ基金の「協力病院」は全国で約190件（2022年12月現在）。飼い主のいない猫の問題を解決する「さくらねこTNR」は動物病院の協力なくしては成り立ちません。殺処分ゼロ達成のため、獣医療を必要とする猫や犬を救うため、そして、助けを求める地域の方々を支援するためには、もっともっと多くの動物病院の協力が必要です。どうか心ある動物病院の皆様のお力をお貸しください。

「さくらねこ無料不妊手術事業」

実施要領を
確認する



実施要領を
確認する



「協力病院」
登録はこちら



（2022年12月現在）※詳細はHP参照ください。

